

備えた地域活性化が紹介された。

現在、新十津川町は農産物のブランド化を模索している段階であるが、素材を生かした各種加工も視野に入れ、多面的な角度から新たな発想や知恵を出しあって、再考してみるのが必要ではないだろうか。

空知町村議会議員研修会

岩木 雅徳

講演 「定住自立圏構想について」

7月10日、長沼町において管内より約200名の議員等が参加し、総務省の山崎重孝氏を招いて講演会が開催された。

構想の目指すべき方向は、
① 中心市と周辺市町村が相互に連携して役割分担をする
② 中心市の機能と周辺市町村の機能が有機的に連携し「定住」のための暮らしに必要な諸機能を総体として確保する
③ 「自立」のための経済基盤や地域の誇りを培う分権型社会に相応しい社会空間の形成を構築し魅力ある地域の形成、とのことでした。

それには各自自治体の緊密な連携が重要になり、医療、福祉、交通アクセス等、総括的視野で合理的かつ機能的な整備を行い、また観光、産業、歴史、文化など互いの特徴を生かしつつ地域資源による魅力ある住環境整備を目指し、地方圏への人の流れの創出を図ると結んだ。

市町村議会議員政策講座(行財政基本コース)

岩木 雅徳

8月4日から7日までの4日間、千葉県幕張の市町村アカデミーにおいて、市町村議会議員政策講座の研修を受けた。

① 分権時代における地方議会への期待
② 地方行政の現状と今後の展開及び課題
③ 分権改革と地方財政の展開
④ 公会計制度改革の概要
⑤ 自治体の戦略的経営改革などの講義と、議会基本条例制定に取り組んだ三重県伊勢市議会の事例紹介が行われた。

全てにおいて中身の濃い講義であり、特に公会計制度改革に関しては、公認会計士3名による概要説明から具体的な内容の説明、計算書の作成、財務諸表の見方まで、こと細かく説明があった。

また、課題演習として「議会と住民のあり方」というテーマで4日間討議する機会があり、全国から集まった30名の議員の方々より現状や問題点などの報告や提言が活発に

編集後記

8月30日に衆議院選挙が終わり、自民党から民主党へ政権交代されました。

今議会の一一般質問でも新政权に対しての質問がありましたが、町長も未だ先が見通せず不安や懸念の方が多いようです。

群馬県八ッ場ダムに対する国の方針は、地方行政や住民に混乱を招いています。どちらが是非か？は、きっと歴史が答えを出してくれるに違いありません。

当町の徳富ダムは、供用開始が1年遅れたものの、本体工事もほとんど終わり、平成23年には完成すると予想されます。

徳富ダム完成を機に、国政に対し、住民・議会・行政・受益者と負担者が共に地域のあり方を考える機会にしたいと思えます。(笹木)

【議会広報特別委員会】

委員長 西永 勝治
副委員長 樋坂 里子
委員 青田 良一
山田 秀明
笹木 正文
岩木 雅徳

▷講演するヒロ中田氏

